

宮崎県 高校入試情報

令和7年度宮崎県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

○大問数は8問構成で、物理・化学・生物・地学の各領域から2問ずつ出題されている。

●出題傾向について

○実験、観察を中心とした出題で、基本的な内容について万遍なく問われている。また、短文記述問題、作図問題も毎年出題されている。問題文が長いので、読解力をつける必要がある。

★宮崎県の入試は、『理科の新研究』でバッチリ！

■ 計算問題の出題

・計算問題が毎年出題されている。基本公式をしっかりと覚えておく必要がある。

新研究で対策！

- 「即効チェック4 重要計算32」(p.172～173)と「入試実戦講座2 公式・計算問題」(p.180～181)で、重要な公式や法則を用いた計算問題の練習ができます。
- 「即効チェック5 グラフ10」(p.174～175)と「入試実戦講座3 グラフ問題」(p.182～183)で、グラフを用いた計算問題に取り組みます。

■ 実験・観察重視の出題

・実験・観察に関する問題が多く出題されている。基本的な操作や結果を確実に覚えておく必要がある。

新研究で対策！

- 各単元の解説ページ「実験（観察）」で、操作の方法や結果などのポイントをわかりやすくまとめています。A問題で確認・練習することができます。
- 「特集 観察の基本操作」(p.12～13)「特集 実験の基本操作」(p.26～27)「即効チェック1 試薬・指示薬・基本操作20」(p.166～167)で、実験・観察時の注意事項を特集しています。

★新研究で出題した宮崎県の入試問題(令和7年度)

- ◆p.17 大問3「気体の性質」 ◆p.49 大問2「堆積岩」 ◆p.73 大問2「光合成」
- ◆p.107 大問2「電流と磁界①」 ◆p.147 大問3「四季の変化」

令和7年度宮崎県入試では、
計算問題が出題されました。
重要な公式をおさえておきましょう。



★宮崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	植物のなかま	▲		▲	▲
	動物のなかま		▲		▲
	物質の区別、気体の性質				●
	水溶液の性質		●		
	物質の状態変化			●	
	光の性質			●	
	音の性質/力のはたらき	▲			●
	火山と地震		●		
	地層と過去のようす				●
	物質の分解、原子・分子	●	▲	▲	
	2年内容				
	物質の化学変化～酸化・還元、化学変化と熱～			▲	
	化学変化と物質の質量	▲		▲	
	生物と細胞/光合成と呼吸		▲		●
	根・茎・葉のつくりとはたらき/行動のしくみ	●			
	消化と吸収			●	
	呼吸・血液の循環・排出のしくみ	●	●		
	気象観測と空気中の水蒸気	▲		●	
	天気の変化	●			
	電流の性質		●	▲	
	3年内容				
	電流のはたらき	●	▲	▲	●
	水溶液とイオン、電池とイオン		●		
	酸・アルカリとイオン	●			●
	生物の成長とふえ方		▲	●	●
	力と運動	▲	▲		
	仕事とエネルギー		▲	▲	
	いろいろなエネルギー		▲	▲	
	天体の動きと地球の自転・公転		●		●
	太陽系と惑星	●		●	
	自然界のつり合い				
	科学技術と人間/自然と人間				
	大問数	8	8	8	8
	小問数	37	37	39	42
	記号解答	22	20	26	28
	短文記述	4	3	2	3
	計算問題	1	6	5	3
出題形式別の傾向	図・グラフ、モデル	2	1	2	1

●…大問の主テーマとして出題された単元。 ▲…大問に1～2問程度出題された単元。